

クロロホルム・ CHCl_3

保護具	中毒が発生した時の応急措置	取扱上の注意事項	生ずるおそれのある疾患の種類及び症状
<p>○適切な呼吸器保護具（有機カス用防毒マスク）、適切な保護手袋（フッ素ゴム製）、適切な眼の保護具（化学飛沫用ゴーグル）、適切な顔面用の保護具、適切な保護衣（フッ素ゴム製のエプロン、ブーツ、全身スーツ等）を着用すること。</p>	<p>○飲み込んだ場合…気分が悪いときは医師に連絡すること。 □をすすぐこと。</p> <p>○眼に入った場合…水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。</p> <p>○皮膚に付着した場合…多量の水、石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当を受けること。汚染された衣類を再使用前に洗濯すること。</p> <p>○眼に入った場合…水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。</p>	<p>○吸入した場合…空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。特別な措置が必要である。医師の診察、手当を受けること。</p> <p>○皮膚に付着した場合…多量の水、石鹸で洗うこと。皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当を受けること。汚染された衣類を再使用前に洗濯すること。</p> <p>○この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。</p> <p>○取り扱い後にはよく手を洗うこと。</p> <p>○屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。</p> <p>○環境に放出しないこと。</p> <p>○取り扱いの場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。</p> <p>○設備は可能であれば密閉系とし、局所排気装置を用いる。</p> <p>○使用前に使用説明書を入力すること。</p> <p>○すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。</p> <p>○粉じん・煙・ガス・ミスト・蒸気・スプレーの吸入をしないこと。</p>	<p>○飲み込むと有害（腹痛、嘔吐、他「吸入」参照）</p> <p>○吸入すると有毒（咳、めまい、し眠、頭痛、吐き気、意識喪失）</p> <p>○皮膚刺激（発赤、痛み、皮膚の乾燥）</p> <p>○重篤な眼の損傷（充血、痛み）</p> <p>○遺伝性疾患のおそれの疑い</p> <p>○発がんのおそれの疑い</p> <p>○生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い</p> <p>○呼吸器、心血管系、肝臓、腎臓の障害</p> <p>○眠気またはめまいのおそれ</p> <p>○長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系、呼吸器、肝臓、腎臓の障害。</p> <p>○水生生物に有害</p> <p>○長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性</p>